

## 海水核種分析結果 < 沿岸及び沖合 >

別紙

(データ集約: 8/16)

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側 に約30m地点)	福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口から南側 に約330m地点)	福島第一 敷地沖合15km 上層	福島第二 敷地沖合15km 上層	炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)				
試料採取日	平成23年7月11日	平成23年7月11日	平成23年7月14日	平成23年7月14日					
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )		試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )
I-131 (約8日)	ND		ND		ND		ND		40
Cs-134 (約2年)	30	0.50	ND		ND		ND		60
Cs-137 (約30年)	40	0.44	ND		ND		ND		90
H-3 (約12年)	ND		ND		ND		ND		60,000
全	ND		ND		ND		ND		
全	61		ND		ND		ND		

炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

I-131, Cs-134, Cs-137については、7月12、15日公表。

(評価)

沿岸については全核種が検出されており、今回の事故による影響と考えられる。